

J-クレジット制度認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 30 年 11 月 12 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー認証機構

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	高知県芸西村の農業用ハウスへのヒートポンプ導入による CO <sub>2</sub> 削減事業
承認番号	JCDM-PJ1389
排出削減事業者名	小松農場
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者：宮地電機株式会社)
事業実施場所	小松農場 (高知県安芸郡芸西村西分甲 2 6 0 3)
事業の概要	野菜用ハウスの既設 A 重油ボイラーを高効率のヒートポンプへ更新することで、燃料使用量を削減し、また低炭素燃料への転換によって、CO <sub>2</sub> 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012 年度 13tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 13tCO <sub>2</sub> )
J-クレジット・国内クレジット認証期間	開始日 2012 年 12 月 25 日 終了予定日 2017 年 12 月 24 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2015 年 4 月 1 日～2017 年 12 月 24 日 (第 3 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	99 tCO <sub>2</sub> (2015年4月1日～2017年12月24日)
-------	---

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認済み排出削減事業計画に従い、高効率のヒートポンプが導入されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認済み。 3) 事業開始日について、本事業は第3回目の実績確認であるため、該当なしとした。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更はないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、国内クレジット制度第20回認証委員会配布資料「国内クレジット制度における施設園芸用ヒートポンプ導入に伴う温室効果ガス排出削減に係るモニタリング方法（農水省）」を採用していることを確認した。 2) ヒートポンプ電力使用量は、電力会社からの請求書により算出・把握可能であることを確認している。なお、ヒートポンプ導入前の電力使用量については、負荷変動が十分に小さく検証結果の誤差が5%未満となることにつ

	<p>いて確認した。また本データが正確に集計されていることを、関係者への質問、検算や集計データの突合等により確認している。</p> <p>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他 排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が認証対象期間を超えないこと</p>	<p>算定期間は2015年4月1日～2017年12月24日までであり、2017年12月24日を超えないことを確認している。</p>

## 5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 22.9kl であることを確認した。

以上